

文部大臣奨励賞

「世界の中の日本 タイムトラベル—日本誕生—」

東京都杉並区立高井戸小学校

六年 太田 裕之



太田君は昨年、輸入品をテーマに日本と外国との関係を研究しました。今年は古代史に注目し、日本と外国との結びつき、そしてそのなかでの人々の生活を調べています。

まず、縄文から奈良時代まで、各時代の政治上の出来事と人々の衣食住を調べました。日本が中国や朝鮮半島から人材や文化を取り入れ国家として発展したのは、支配者層の活躍とともに、税を納め、労役についた庶民の力があつたからだということに気づきました。さらに古代史のみならず、現代の北朝鮮の食糧支援問題にふれるなど、世界の中の日本を考えたグローバルな研究をしています。また、実際に奈良時代の食べ物やはしをつくるなど、当時の人々の生活も体験しています。さまざまな角度からテーマにせまった大作です。



優秀賞

「水」を通して世界を知ろう
世界の中の「日本」を知ろう

新潟県新潟大学教育学部附属新潟中学校

一年 本間 洋州



▲過去から現在、そして未来における水と人間のかかわりを、地球の規模で考察した作品です。さまざまな文献や新聞を読み、自分の考えを力強い文章で十枚の壁新聞に仕上げました。

「小さなことに大きな愛を」

岐阜県岐阜市立長良中学校

二年 村瀬 泰子



▲自分の中にあった差別意識を失くしたいという願いから研究が始まりました。成人施設の見学や国立病院での体験学習を通して、より良い生き方を探っているその姿勢が素晴らしい作品です。

★総評★

今年は千点近い作品が寄せられ、自分の研究に積極的に取り組む人が増えました。なかにはグループ研究の大作もあり、作品のレベルも年々高くなっています。ただ、授業の延長のような内容が多く、例年と同じようなテーマの作品がほとんどでした。

もっと生活の中の「なぜ？」という素朴な疑問を大切に、自由な発想をして下さい。そしてそれを社会科に結びつけるような研究を期待しています。

★自由研究のポイント★

●テーマ選び 生活の中にある疑問から選ぶと自分の問題として研究できるでしょう。

●研究方法 既成の資料に頼るのではなく、自分の足を使って調査、体験をしましょう。中学生は、行政や歴史にも関連づけて、一歩ふみ込んだ研究をすると良いでしょう。

●まとめ方 調査・資料収集だけでなく、研究の成果を最後につけましょう。

日本社会科教育学会 会長賞

「あきたこまちはなぜ うまい？」

その秘密をさぐる

広島県三原市立三原小学校

五年二組一同



社会科の授業で米づくりについて学習したときに、「あきたこまち」が短期間で全国の消費者に受け入れられるようになったことを知り、その秘密を探ることにしました。インターネットによる調査や生産地である秋田県を訪れてのインタビュー、さらに田植えから刈りとり、試食まで力を合わせて自分たちで行いました。仮説、調査、体験、まとめがしっかりとおり、グループだからこそその深まりのある大作です。

優良賞

「97夏 私の水の旅」

→関東地方のダムや浄水場など24カ所を実際に訪ね、自分の飲み水はどこから来たのかを調べた作品です。

「目の見えない人にはキケンがいっぱい」

→自分の住む赤羽の町を調べ、目の見えない人にとっての住みやすい町づくりを研究しました。

「子供国会について」

→子供国会を傍聴し、子供議員にインタビューした上で、議題であった環境問題について考えています。

「私の宝物づくり 苗字のことを調べてみよう!!」

→自分の家系の苗字から、全国各地の苗字まで、そのいわれや成り立ちをくわしく調べた作品です。

「看護婦・病院を通して知る・学ぶ 今の看護婦問題について」

→自分のなりたい将来像をふまえ、病院での看護婦見学を行い、看護婦不足等の問題を考察しています。

佳作

「とべ リサイクルマン」

→資源ゴミのリサイクルの様子を、リサイクルマンを登場させ、楽しく調べています。

「菊の研究」

→こんやく畑や工場を見学し、こんやくから製品になるまでを実験を通して、調べました。

「土石流の発生としくみ」

→（東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小五年）飯沼 慶晃

「土石流のおきた地点の様子を調べ、実際に土石流のおきかたの体験を行い、災害と防災を考えました。」

「キャベツ畑の大競争」

→群馬県碓氷郡と東京都練馬区の農業を、キャベツの種植えから出荷までの比較によって考察しています。

「美濃和紙を調べて」

→美濃和紙をすいてる様子を見学し、紙ができるまでの工程と、全国の紙の産地を調べた作品です。

「君はお茶を知っているか!」

→（広島県甲山町立中央小六年）今田匡哉・石森のぞみ・沖田津香奈・高木賢・中川健男

→自分達の住んでいる地域の広島世羅茶から世界のお茶までを調べ、お茶のよさを再発見しています。

「伝統工芸 広島県の『経木帽子作り』」

→（広島県甲山町立中央小六年）谷山千佳・小林浩子

→広島県の伝統工芸品、経木帽子の歴史や製作工程を調べ、なくなりつつある経木帽子の現状を考えています。

「所かわれば味かわる」

→（広島県甲山町立中央小六年）前迫由希子・田村典代

→広島県甲山町と沖繩県那覇市の郷土料理を実際に作って、比較し、料理がうまれた背景を追っています。

「少年A VS ボク」

→（東京都東京学芸大学教育学部附属竹早中一年）岩上紘一郎

→神戸の児童殺害事件について、新聞記事等を使って国の対応を調べ、自分なりに考察した作品です。

「鷺ノ森古戦場を探る」

→（山形県東根市立第一中二年）野口 聡子

→自分の住んでいる地域にある鷺ノ森古戦場を、古い資料等を使って調べた、地域に密着した作品です。